

卸売市場の将来方向に関する
研究会について

「卸売市場の将来方向に関する研究会」開催要領

第1 趣旨

卸売市場については、これまで、卸売市場における取引の合理化、適正な品質管理の推進、卸売市場の再編の円滑化等の措置を講じ、生産・消費両サイドの期待に応えられる「安全・安心」で「効率的」な流通システムへの転換に努めているところである。

一方、我が国の生鮮食料品等流通をめぐっては、食の安全・安心に対する期待がより一層高まる中、少子高齢化等による社会構造の変化により、国民の食料消費の形態や内容は今後大きく変化していくことが予想されるほか、環境問題への対応も必要となっている。

また、卸売市場の整備を図る上での基本となる卸売市場整備基本方針については、現行方針の期間が平成22年度までとなっており、同年度中に新たな方針を策定する必要がある。

こうした動向を踏まえつつ、国民へ安定的かつ効率的に生鮮食料品等を供給する使命を有している卸売市場に今後期待される役割と将来方向、施策のあり方について、幅広い観点から総合的に検討を行うため、有識者から成る「卸売市場の将来方向に関する研究会」（以下「研究会」という。）を開催する。

第2 構成

研究会は、別紙に掲げる委員により構成する。

第3 運営

- 1 研究会の座長は、委員の互選により選任する。座長は、研究会の議事を運営する。また、座長は、研究会の承認を得て、委員の中から座長代理を指名することができる。
- 2 研究会の会合には、必要に応じて、委員以外の有識者の参加を求め、説明及び意見の聴取を行うことができる。
- 3 研究会の会合は、公開とする。ただし、研究会の運営に著しい支障があると認められる場合には、座長は、研究会に諮って、会合を非公開とすることができる。
なお、議事概要は、原則として公開するものとする。
- 4 研究会に関する庶務は、総合食料局流通課において行う。

「卸売市場の将来方向に関する研究会」
委員名簿

伊藤	裕康	社団法人全国中央市場水産卸協会 会長
伊藤	宏之	全国水産物卸組合連合会 会長
遠藤	喜志雄	全国魚卸売市場連合会 会長
大澤	誠司	全国青果卸売協同組合連合会 会長
大武	勇	全国水産物商業協同組合連合会 副会長
大塚	明	日本スーパーマーケット協会 専務理事
川田	一光	社団法人全国中央市場青果卸売協会 会長
倉崎	利雄	社団法人全国青果卸売市場協会 副会長
近藤	栄一郎	全国青果物商業協同組合連合会 理事
佐藤	節夫	社団法人日本食肉市場卸売協会 会長
中嶋	康博	東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授
◎根本	重之	拓殖大学商学部 教授
樋口	利一	社団法人日本花き卸売市場協会 会長
松村	大	全国中央卸売市場協会専門委員会 委員長
百瀬	祥一	全国農業協同組合連合会 園芸農産部長
○渡辺	達朗	専修大学商学部 教授

(五十音順、敬称略)

◎：座長 ○：座長代理

これまでの経緯及び今後のスケジュール(案)

第1回

日時：平成21年10月16日(金) 10:00~12:00
場所：農林水産省共用第10会議室
議題：卸売市場をめぐる情勢について

第2回

日時：平成21年10月30日(金) 9:30~12:00
場所：農林水産省共用第10会議室
議題：ヒアリング①(中央卸売市場関係事業者)
・(社)全国中央卸売市場青果卸売協会
・(社)全国中央市場水産卸協会
・(社)日本食肉市場卸売協会
・(社)日本花き卸売市場協会
・全国青果卸売協同組合連合会
・全国水産物卸組合連合会

第3回

日時：平成21年11月6日(金) 9:30~12:00
場所：農林水産省第2特別会議室
議題：ヒアリング②(出荷者)
・全国農業協同組合連合会
・日本園芸農業協同組合連合会
・孺恋村農業協同組合
・全国漁業協同組合連合会
・(社)日本花き生産協会

第4回

日時：平成21年11月20日(金) 9:30~12:00
場所：農林水産省第2特別会議室
議題：ヒアリング③(実需者)
・全国青果物商業協同組合連合会
・全国水産物商業協同組合連合会
・日本スーパーマーケット協会
・青果物カット事業協議会
・(社)日本フードサービス協会
・(社)日本生花通信配達協会
・主婦連合会

第5回

日時：平成21年11月27日(金) 9:30~12:00
場所：農林水産省共用第10会議室

議題：ヒアリング④(学識経験者・開設者・地方卸売市場関係事業者)

- ・東京農業大学教授 藤島廣二
- ・酪農学園大学教授 細川允史
- ・全国中央卸売市場協会
- ・高崎市総合地方卸売市場株式会社
- ・(社)全国青果卸売市場協会
- ・全国魚卸売市場連合会

第6回

日時：平成21年12月11日(金) 10:00~12:00

場所：農林水産省共用第10会議室

議題：ヒアリングとりまとめ

第7回

日時：平成22年1月22日(金) 10:00~12:00

場所：農林水産省第2特別会議室

- 議題：① 主要な課題と今後の対応方向について
② 生産・消費ニーズへの適切な対応について

第8回

日時：平成22年2月5日(金) 10:00~12:00

場所：農林水産省第2特別会議室

- 議題：① 公正かつ合理的な取引の確保について
② 社会的要請への適切な対応について

第9回

日時：平成22年2月19日(金) 10:00~12:00

場所：農林水産省第2特別会議室

議題：卸売市場の再編の推進について

第10回

日時：平成22年3月5日(金) 10:00~12:00

場所：農林水産省共用第10会議室

- 議題：① 卸売業者、仲卸業者の経営基盤の強化について
② 経営戦略という視点を持った市場運営の確保について

第11回

日時：平成22年3月19日(金) 10:00~12:00

場所：農林水産省共用第10会議室

議題：報告とりまとめ(案)について

第12回(予備日)

日時：平成22年3月26日(金) 10:00~12:00

場所：農林水産省共用第10会議室

卸売市場の将来方向の検討について（案）

卸売市場をめぐる情勢の変化

少子高齢化等による食料消費の減少

食料消費・小売形態の変化や消費者ニーズの多様化

食の安全・消費者の信頼の確保や鮮度保持への期待の高まり

環境問題をはじめとする社会的要請の高まり

従業者の減少等による農水産物の生産構造の脆弱化

輸入品の増加等による市場経由率の低下

取扱金額の減少等による卸・仲卸業者の経営状況の悪化

卸売市場の現状及び問題点

基本的な機能の現状及び問題点

《集荷(品揃え)・分荷機能》

大量・多品種の産品を迅速に流通させるための効率的な仕組

- コールドチェーンの整備が遅れているなど品質確保のための取組に遅れが懸念切れない
- 加工・調製等実需者からの要請に応え切れない
- 多様な品揃えの確保への取組が不十分
- 数量、価格の安定的な取引への対応が不十分
- 過重な規制等により市場取引の自由度が阻害
- 市場取引委員会が十分に機能していない

《価格形成機能》

需給を反映した適正かつ透明性のある価格の形成

- 相対取引の増加により価格形成のプロセスが見えずらくなっている
- セリ取引の減少により目利きによる商品評価の場が減少
- 実需者の大型化により需要側の意見が強く反映される傾向

《代金決済機能》

生鮮食品等の安定的な生産・出荷に重要な役割

- 代金決済機能を支えている代払組合等の仕組みの維持・存続が重要
- 代金決済を担う卸売業者、仲卸業者の経営が悪化

《情報受発信機能》

実需者ニーズや産地情報を川上・川下へ正確かつ迅速に伝達することが重要

- 実需者及び産地との間における情報収集、情報発信力が脆弱
- 生産から消費に至る情報を市場関係者間で共有できていない

その他の機能・役割の現状及び問題点

- 卸売市場を流通する商品に対する安全と消費者の信頼を確保するため積極的な対応が求められている
- コンプライアンスの徹底への積極的な対応が求められている
- 地球温暖化をはじめとする環境問題へ取り組み余地が多く残されている
- これらのほか、今後、発揮すべき機能・役割があるのではないか

円滑な機能発揮を支える市場の経営・管理体制等の現状及び問題点

- 取扱金額等の市場間格差が拡大
- 卸売業者、仲卸業者の経営が悪化
- 卸売市場全体の経営戦略という視点が不足
- フードチェーン全体を見据えた対応が不十分

主要な課題

円滑な機能発揮と更なる機能強化に向けた課題

卸売市場がその機能・役割を十全に果たし、一層の機能強化を図っていくためには、次のような課題が存在。

- 加工・調製体制の強化や契約取引など従来とは異なる要請への対応やコールドチェーンの確保等を通じて、**生産・消費ニーズに適切に対応していく必要**
- 価格形成過程の透明性の向上等を通じた**公正な取引の確保**と取引規制の一層の緩和等を通じた**合理的な取引の確保が必要**
- 食の安全・消費者の信頼確保への対応、コンプライアンスの徹底や環境問題への対応等を通じて、一層高まっている**社会的要請に適切に対応していく必要**

円滑な機能発揮と更なる機能強化を支える市場の経営・管理体制等の課題

市場の円滑な機能発揮と更なる機能強化のための条件を整備し、機能・役割を十全に果たすことを確実なものとしていくためには、市場の経営・管理体制等について、次のような課題が存在。

- 取扱金額等の市場間格差の拡大等に応じ、市場の役割分担を明確化する等の**卸売市場の再編の推進が必要**
- 機能の直接的な発揮主体である**卸売業者、仲卸業者の経営基盤の強化が必要**
- 市場が将来にわたって持続的に機能を発揮できるよう卸売市場全体の**経営戦略と**いう視点を持った**市場運営の確保が必要**

今後の対応方向

① 生産・消費ニーズへの適切な対応

《主な検討項目》

- コールドチェーン対応、加工・調製体制の強化等、市場の機能高度化への取組
- 品揃えの拡大、川上・川下への情報受発信の強化の取組
- 契約取引等の安定的な取引の推進

② 公正かつ合理的な取引の確保

《主な検討項目》

- 価格形成の透明性の向上
- 商物一致規制をはじめとする取引規制の一層の緩和

③ 社会的要請への適切な対応

《主な検討項目》

- 食の安全・消費者の信頼確保への取組
- コンプライアンスの徹底
- 環境問題への取組

④ 卸売市場の再編の推進

《主な検討項目》

- 拠点的な市場とそれ以外の市場との役割分担の明確化及び両者の基準や要件
- 中央卸売市場としての機能が十分に発揮されていない市場の再編

⑤ 卸売業者、仲卸業者の経営基盤の強化

《主な検討項目》

- 卸売業者、仲卸業者の経営の改善（財務体質の強化、連携・統合の推進）

⑥ 経営戦略という視点を持った市場運営の確保

《主な検討項目》

- 経営戦略という視点を持った市場運営の仕組み